

福島県 GH 協議会 会津方部 一般職員研修会アンケート集計

Q1、本日の研修はいかがでしたか？				
とても良かった	良かった	普通	あまり良くない	良くない
9	8			
(回答 17 名/参加者 21 名)				
Q2、今回の研修に参加して何か印象に残るものはありましたか？				
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待につながる不適切なケアは無くなるわけではなく、日々話し合っていくことの大切さを学びました。 ・利用者の決定する意思を大切にしていこうと考えたいと思いました。 ・介助者側に都合が優先されると「支援ではなく、支配になる。」という言葉が印象に残りました。 ・自分の傾向を意識すること。自己覚知することが大事でコントロールしながらケアしたい。 ・虐待として、立ち上がる能力がある人の立ち上がりを防ぐような椅子を使用する→支配者本位の心理＝支配であるとの言葉は、まさにその通りだと実感した。 ・BPSD へのケアの説明 ・虐待の線引きが不適切ケアを生んでしまう。トライ＆エラーでやっていくしかない。 ・虐待についてどうしたら防げるのか→現場の中で検証していくことが大切であるということ。 ・間違ったケアを行うと職場全体に間違った方向に行ってしまう。自分事として深掘りし考えていく。 ・高齢者虐待はなくなる。答えはない。→現場で日々検証していくことチームで考えていくことが大事。 ・皆で話し合い良くなることを考えて、虐待などが起こらないようにしていきたいと思います。 ・100%防ぐことは難しいですが、日頃から丁寧に「不適切では」ということを皆で話し合い検証していくことが重要だと改めて思いました。 ・悪性の心理と有害なケアは、ほぼ「毎日」直面する。課題として再確認することが出来ました。 ・不適切なケアに向うかの分岐点がある。どう捉えるかどう考えるかでケアの仕方が変わり、関わり方も変わる ・身体拘束・虐待について、線引きが曖昧な部分もあったり、会社の風土も悪くなってしまう事もあると感じた ・原因が無い結果は無いとの言葉が印象に残りました。「なぜ？どうして？」を話し合っていきたいです。 				
Q3、今後実施して欲しい研修はありますか？				
<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアの研修があれば受けてみたい。 ・GH での看護師の役割について ・アンガーマネジメント ・排泄ケアについて ・ストレス回避について ・成年後見制度 ・意思決定支援（具体的な例を含めて） ・虐待の間口をもっと深く知りたい。 ・高齢者の栄養マネジメント 				

Q4、その他、ご意見ご感想等ありましたらご記載下さい。

- ・虐待の芽は理解できて分かりやすいと思いました。
- ・各ホームでのケアの対応方法など聞いてみたかったです。(入浴しない、声掛けしてもダメな時など)
- ・同じ内容でも「身体拘束・虐待」は何度でも何度でも繰り返し学んでいくことが大事だと思いました。興味深く、今後に向けてポジティブに考えられることも多々あります。ありがとうございました。